

保育施設 基本情報

園・施設名	めぐみ保育園
経営主体	宗教法人 ウェスレアンホーリネス教団
所在地	神奈川県横浜市港南区大久保1-9-13
定員	19人
理事長名	代表役員 岡田順一
園長名	渡辺栄美
採用担当者	施設長 佐藤智子
電話番号	045-349-9742
保育理念 保育方針 保育目標	<p>(保育理念) 一人ひとりが愛されていると感じ 愛する人を育む</p> <p>(保育方針) ・一人ひとりを見つめ、尊敬・尊重し、抱きしめる、愛にあふれたかかわり、かけがえのない命と環境を大切に保育を目指しています。 ・保護者と地域の子育て拠点となり、楽しんで子育てできるように貢献します。</p> <p>(保育目標) ・自分が愛されていることを知り、友だちを愛する子 ・やさしい心を持った子 ・身体も心もたくましい子</p>
保育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児クラス保育室、プレイルーム、2歳児保育室、園庭(ウッドデッキ、砂場)、2階礼拝堂 ・各部屋にクローゼットが二つずつ ・おもちゃ棚が各クラスにあり、3階に大型のおもちゃを保管している
ホームページURL	http://megumihoikuen.yokohama/ 
事前質問	<p>《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>まずは個々の保育士の人間性が十分に発揮できるかが大きい。 子どもの姿をみる目を養い、ただ安全であるだけの日々ではない積極的に挑戦的、かつリアルな計画が立てられるようになること。 子どもの予想される姿がわかってくると計画が変わる。そして声掛けや導線、環境、遊びが一人ひとりの子どもに寄り添ったものとなり、理念の実現へと導かれる。 いずれは保育士の個性が光る保育計画が立てられることが目標だ。誠実さ、こだわるポイントが際立つ保育が誰にでも伝われば子どもたちの生きる力となり、保護者の子育ての向上になると考える。</p>
	<p>「保育の質」の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。</p> <p>私が施設長になった際に着手したのは保育士の待遇を大幅に改善だ。給与の改善に伴って賃金規程等の規定を見直し、仕組みを改善し、それぞれの担当や責任を明確にすることでPDCAが回り、着実に意思決定、改善が積み重ねられていった。 仕組みの改善とは、面談、会議、研修のやり方を大幅に変えた。定期面談は2年⇒6年、会議は保育会議1/月⇒小会議1/週、研修は園内研修を1/月、ドキュメンテーション1/週行っている。 一人ひとりの保育士も愛されていると感じる運営を目指し、面談もそれぞれの保育士に合った目標管理や悩みや不安の解消の為に用いている。</p>
	<p>学生の就活において「職員同士の"人間関係"」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。</p> <p>人間関係が最優先になってはいけない。あくまでも園の目標を全員で達成することが最優先。そのための人間関係だと考えている。 得てして保育園の職員は人間関係を最優先にしてしまい、いうべきことを言わない風潮が起りがちだ。そうならないために会議で意見と発言者を切り離し、園の目標の為に必要かどうかで判断している。</p>
	<p>乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。 また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的にお教えください。</p> <p>応答的で安心できる心地よい関係であることが重要。どの瞬間もこの先生といくと嬉しい、楽しい、気持ちいい、と子どもが感じるように保育者が関わることが求められる。そのために保育者自身の生活が充実していることが大切だ。有休を有効に活用できるように体調管理を行い、最大限人生を楽しんでほしいと都度都度伝えている。有休を取りやすいように職員配置を整え、気兼ねなく休めるようにしている。また研修も希望通りに行ってもらったり必要な本があったら経費で購入したりしている。</p>
	<p>生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。</p> <p>・1歳児は身の回りを心地よい環境に保つために保育士が援助し、自分でやろうとすることを見守り、できた達成感を味わえるようにする。 ・2歳児は自分でやろうとする気持ちを促すために導線や環境を整え、自然に子どもが行えるようにする。 1歳児事例：高月齢の子が自分で着脱をしようとする際におおいに褒め、他児が興味を持てるようにした。できないときには自分でできるようになったときのやり方を声掛けしながら介助することで、2歳児への布石となる。 2歳児事例：生活の見通しがつくようになっていたので大きな導線は変えず、次々に楽しいことが待っているとわかるように声掛けする。そうして自分のことを当たり前のようにならざるを得なくなっていった。</p>
	<p>絵に描いた餅にならないよう、言葉だけにならないように常にリーダーが自身の言動を見直しています。だから職員一人ひとり、当事者意識をもち、責任をもって業務に当たります。小規模保育事業は決して楽ではありません。むしろ保育に関して妥協を許されたいと思います。少人数でゆったりみられると誰もが思うからです。実際には一人ひとりの子どもを熱心にみようと思うと難しいところがたくさんあります。それを一切言い訳にせず、前向きに挑戦していきたいと思う方にぜひいらしていただきたいです！</p>